

三沢海軍航空隊終戦の日慰霊行事
(三沢海友会主催)
令和2年8月15日(土)

今年は、地元紙
東奥日報の
取材を受けました。

月館八郎さん(前列右)は、実は99歳。
来年の2月に100歳を迎えられます。
海軍魂で今なお矍鑠とされています。



東奥日報
令和2年8月18日(火)

東西南北 *

旧海軍隊員の労苦しのぶ

終戦の日の15日、三沢市民の森にある旧三沢海軍航空隊の碑の前で、旧海軍OBらの親交団体「三沢海友会」ら関係者が集まり、当時に思いをはせながら隊員の労苦



をしのんだ一写真。

碑は1995年8月に設立された。関係者は毎年、碑の前に集まっているが、今年の出席者は三沢海友会のほか空自退職者団体「三沢つばさ会」、空自三沢基地OB会、隊友会上十三支部の会員ら計8人だった。

黙とうに続き軍歌「海ゆかば」を奉唱。三沢海友会会長の月館八郎さん(91)は「当時のことを知る人がどんどん減るが、(顕彰行事は)毎年続けていかなければ」と話した。

太平洋戦争中、三沢に置かれた海軍部隊は南太平洋各地の激戦で壊滅的な被害を受けた。三沢飛行場は1945年7月14日と8月9、10日に米艦載機の空襲を受け、戦闘機や建物のほとんどが破壊、焼失した。(岡田圭逸)

三沢海友会の種市嗣彦氏による喇叭吹奏で軍艦旗掲揚

